

# あいち

ニュース、話題は地元のJA通信員へ  
名古屋市中区錦3丁目3番8号  
JA愛知中央会  
電話 052(951)6944



学校給食用のサツマイモの収穫作業をする就労継続支援B型F e e lの利用者とスタッフ

## 障がい者が育てたサツマイモ 学校給へ出荷後押し

障がい者が育てたサツマイモ

【愛知北】JA愛知北は、管内の江南市で障がい者が栽培したサツマイモの学校給食への出荷を支援する。10月からの供給に向け、9月に同市後飛保町の圃場（ほじょう）で利用者とスタッフの約10人が収穫作業をした。

JA愛知北

## 農福連携と 自立を支援

サツマイモ栽培に取り組みのは、同市の一般社団法人「はーとプロジェクト」が運営する事業所

「就労継続支援B型F e e l」を利用する障がい者。同事業所は、2016年から障がい者の賃金

向上による自立支援を目的に農福連携に着手。地域の耕作放棄地を活用し、無農薬、無肥料の自然栽培で育てた安全でおいしい高付加価値の野菜作りを実践する。19年に認定農業者となった。同事業所やインターネットなどで販売し、昨年4月だった収穫量を今年から10トンに増やす計画で、JAに販売先の相談があり、学校給食への出荷につながった。その他にも、JAのインショップでも販売する。

JAの営農生活部販売課の山口利貴課長は「高齢化で、農業労働力の確

保や耕作放棄地の解消が課題となっている。JAが農福連携を支援することで、これらの課題を解決し、障がい者の社会参加意識と賃金の向上を通じた自立の支援ができ、農業と福祉それぞれにメ

リットがある」と語る。同法人の大森秀樹代表理事は「JAの支援による連携は、農業技術の向上や販路拡大はもちろん、農家の方々に障がい者を知ってもらう良い機会となる。将来、利用者

が農家で働くことができようになるばうれしい」と語った。JAは他の野菜の栽培技術指導や施設外就労支援をしている方針で、11月中旬には同事業所の利用者が施設外就労を行う予定だ。